



「業」と「存在」

広島女学院中学高等学校 校長 星野 晴夫

医師の日野原重明先生が7月18日に、105歳で永眠されました。父、善輔先生は1930年から12年間本学院の校長・院長・理事長を務め、日本が戦争へと向かう思想的にも厳しい時代に、基督教主義に堅く立つ学院運営に貢献されました。当時医学部生であった重明先生は、一時期病を得て本校の院長館で療養され、その間宣教師の先生からピアノを習われるなど、若い頃から広島女学院とは深い関係がありました。クリスチャン医師として、また文化人として、幅広い分野で社会的弱者の視点から多大な貢献をされ、生涯現役を貫かれ、晩年は本学院の最高顧問として、その歩みを見守ってくださいました。

7月29日東京の青山葬儀所において行われた葬送・告別式では、聖路加国際病院のケビン・シーバー司教が説教をされました。冒頭、今日は日野原先生の功績を並べあげることほしめない。それは余りに多く挙げるのに時間が足りないこともあるが、何よりも先生が神の許に受け入れられることと、それは何の関係もないからですと語り、ハプスブルク家最後の皇太子で、2011年に亡くなったオーストリアのオットー・フォン・ハプスブルク氏の葬儀に触れました。衛兵に守られた棺が霊廟の入口に到着すると、先導者が門を叩いて、歴史あるハプスブルク家の家系を受け継ぐオットー氏の名を名乗りますが、門の内からは「その者を私は知らない。」との声がかかります。更に故国の独立の為命を懸けてナチスに抗したことや、戦後欧州の統合に寄与した功績等が語られますが同じ応答が来ます。そこで、更に「私はオットー。神の憐みなくしては御前に立つことの出来ない罪人です。」との名乗りが告げられると、門が開き棺は中に迎え入れられたのです。ハプスブルク家伝統のこの葬儀は、人生の終わりに人はまとうていた生涯の「業」を脱ぎ捨て、一人の「存在」として立たされるといふ厳粛な事実を思い起こさせます。その日、裸の個として不安の中に立つ私達を、神は惨めな罪人としてでなく、悔い改めによりイエスの十字架を通して新しくされた、愛の対象として、門を開けて迎え入れる備えをしておられるのです。シーバー司教は、日野原先生の数々の功績を覚える人は、先生の生き方の根底にあった信仰にも目を留めるべきですと述べられました。

学校は、生徒達が人生を生きていく為の様々な「業」を身に付けさせていく場であり、必要とされる力が付けられる為の営みが日々続けられています。同時に生徒達は、学ぶこと、生きることの意味を探し求める感受性豊かな一人の人格です。若い日々「存在」の意味を問い、自己と隣人の尊さを知ることは、真の人生を歩むために不可欠な土台であり、そこにキリスト教学校の重要な使命があります。創立以来131年、学校の日々の礼拝の中で聖書の言葉の前に静まり、愛されてそこにいる人の存在を思い起こすことは、深い意味を持つことであると思えます。



礼拝で中高生にお話される日野原重明先生。2005年10月



日野原善輔先生。院長在任1930～1942

2018年度からの新しい広島女学院大学



女性の生涯を豊かにする教育

広島女学院大学学長 湊 晶子

●変わらない建学の理念

1886(明治19)年に、ランバス宣教師父子の協力を得て砂本貞吉牧師によって創立されて以来守られて来たキリスト教を基盤とした女子人格教育、教養教育の理念は、今日まで変わることなく堅持されてきました。これから変わることはありません。本学の教養教育とは、「ぶれない個・私・人格」を育て、社会及び世界の中で貢献できる人物を世に送り出すことです。

2017年度までに入学された学生の教育内容は、卒業まで変更されることなく守られます。2018年度から、女性の生涯を視野に入れたプログラムがスタートいたしますが、このコンセプトは新一年生だけでなく大学全体のものとして対応してまいります。

●女性の「生涯を視野に入れた改革」

大学を卒業するまでは男性も女性も全く同じペースで24時間を過ごすことが出来ませんが、社会に出てからの結婚、出産、育児、転勤、介護と言った様々な家庭環境の変化から、女性は大きな影響を受けます。私は自らの85年の人生を振り返って、女性が豊かな人生を送るためには、問題を自らの力で解決し、自分の人生をマネジメントしていく開拓力を身に着け、「ぶれない個・私・人格」を確立する必要があると思っています。

特に女性の場合、出産、家庭の事情、仕事の種類などで均一なキャリア概念を創出することができません。私は「キャリア」を次のように定義した上

で、女子大学の教育内容を再検討致しました。「報酬が得られる職業についている時だけがキャリアではない。具体的に金銭化されない労働がある(主婦労働、ボランティア、文化形成活動、定年退職後の労働など)。各個人が生涯に亘って形成した労働生活全体がキャリアである。」と。

本学には学問と実践を併せ持つ学部・学科があり、これを再編成することによって、女性の「生涯・ライフキャリア」をより豊かにするプログラムが組めると確信し、この度の改革となりました。

●「ライフキャリア教育」を土台にしたカリキュラム編成

具体的には2018年度から2学部5学科に再編致します。(新学部・学科編成の図参照)。人間への理解を深める「人文学部」と、女性の一生の支えとなる資格取得を支援する「人間生活学部」によって「学問」と「実践」の両方を深く、そして濃く学ぶ教育を強化します。

もう一つの大きな特質は、キリスト教教学入門を含む基礎科目の他に、女性の生涯を生かす基盤となる「ライフキャリア科目」を設けたところにあります。この「ライフキャリア科目」は、女性史、キリスト教と女性などの「自己との関係科目群」、暮らしを営む食と健康などの「他者との関係科目群」、ビジネス実務総論、ヒロシマと平和など「社会との関係科目群」、「その他科目群」の4科目群からなり、どの学部・学科に属していても自由に選択することが出来るように組まれています。例えば、日本文化学科の学生が食や健康

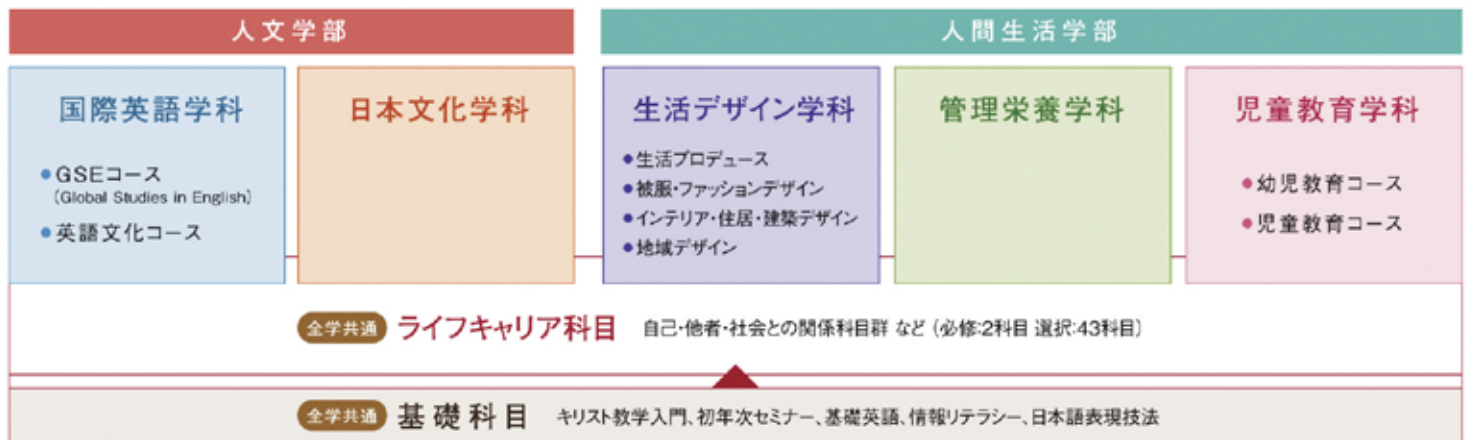
を、また地域貢献についても学び、国際英語学科の学生が国際人として活躍するために日本文化を学び、生活デザイン学科や管理栄養学科の学生が子育てを学び、児童教育学科の学生が語学力を培うこともできます。

基礎科目、ライフキャリア科目、各々が属する専門科目からなる4年間の学びは、それぞれの人生の土台となり、女性の一生を豊かにし、自信をもって生涯を全うすることが出来るでしょう。

● 一生涯の大学・エンパワメントセンター

私が初めて仕事に就いた1960年には、女性が子供をもって仕事をすると非難された時代でした。多くの努力を重ね、1985(昭60)年男雇用機会均等法、1991(平3)年育児・介護休業法、1999(平11)年男女共同参画社会基本法、2005(平17)育児・介護休業法改正、2016(平28)女性活躍推進

新学部・学科編成



法が揃いました。

成果主義の導入や育児休業の普及などで、性差に関わらず働ける環境が私の時代よりもはるかに整って来ましたが、企業内で責任ある地位に就く女性はまだまだわずかです。

共学の大学では、卒業と同時に大学との関係

は薄れますが、広島女学院大学の卒業生にとって、母校は一生涯の大学となります。卒業後も色々な節目に戻って来てリフレッシュできるプログラムを用意し、今後も充実させるためのプロジェクトを推進させるために、エンパワメントセンターを立ち上げました。

既に2016年と2017年には、広島女学院大学卒業生のための学長講演会を開催し、何十年ぶりに母校に帰り、新しい力を与えられて、それぞれの場に帰って行かれました。2018年度の新しい出発を「まず建学の理念に立ち帰ってスタートすべき」であると考え、同窓会とのコラボで研究会を始めましたところ、申し込みが240名を超え、大学の階段教室で行うことになりました。今も脈々と生きている「女学院スピリットによる第一歩」は必ず成功させていただけると信じています。

経済界との連携も深めたいと願い、「広島女学院大学と広島経済同友会との包括的連携」を8月1日に締結することができました。広島女学院大学を卒業して、アナウンサー、教員、会社員等として社会で活躍しておられる方々がたくさん居られます。ご経験を踏まえての講演やパネルディスカッション等を通してエンパワメントセンターの発展に貢献していただければ幸いです。また、私が属している広島経済同友会の「ひとづくり委員会」、「まちづくり委員会」との交流にもつなげたいと願っています。



大学

広島経済同友会との「包括的連携協力に関する協定書」調印式



8月1日にゲインズチャペルにおいて本学と広島経済同友会による「包括的連携協力に関する協定書」の調印式が行われました。

「包括的連携協力に関する協定書」調印式
8月1日にゲインズチャペルにおいて本学と広島経済同友会による「包括的連携協力に関する協定書」の調印式が行われました。
本学は昨年10月に広島経済同友会会員となり、濤学長が同会における講演や「ひとづくり委員会」ま

「寄り添う、とくしむ」
2017年度春季宗教強調週間 5月22日(月)〜26日(金)
今季宗教強調週間では日本福音ルーテル大正教会牧師、立野泰博先生を特別講師にお迎えしました。先生の実践のご経験に基づき講話は、8mの壁によって分断され、生きる基盤を切り裂かれたパレスチナのことどもたちが「ヒロシマ」を復興の希望としてくれていること、東日本大震災被災地で出会った、幼い娘を失った母親の魂の叫びなど、心を揺さぶるメッセージに満ちていました。
東日本では震災直後から、1年以上にわたって救援活動に携わられた先生が、昨年4月の熊本地震では初めて被災者という立場に立たされたといま

す。故郷の阿蘇の村が壊滅し、親戚の中からも犠牲者が出るという悲しみの中、立野先生は、時を置かずして大正教会の一角を開放して「Cafe de Monk」(Monkは僧・修道士などの意を立ち上げ、悲しみや不安の淵に立たされた人々に寄り添う働きをはじめられました。教師だけでなく、お坊さんや様々な宗教者が、来られた方の語ることを傾聴(敬聴)し、互いに談笑する姿が見られるユニークな場です。まさに、軽やかで、深く、温かい先生のお人柄と信仰の結実といえるでしょう。
(チャブレン 澤村雅史)



Google Womenw... 未来の働き方アカデミー開催

大学生から社会を変えていく
働く女性を応援するGoogle Womenw...
活動主旨に賛同し、女性がもっと輝く社会づくりのヒントを考え発信するイベントを開催。「働く条件と意味」「女性が一生懸命と現実はギャップ

を知る」をテーマに、セミナーやグループワークなどの事前学習を行いました。イベント本番では、総勢70名の学生で、みんなが働きやすくなる社会をつくるアイデアをデイスカッションしました。学生からは、「つわりにも優しい社会へ」や「定年退職をした先輩ママに助けてもらおう」などの提案がされ、Womenw...のサイトから社会へ発信されています。ライフキャリア教育の基盤となる取り組みに、学生の主体的に考える意識の高まりがみられました。
(管理栄養学科 妻木陽子)

第51回原爆講座
8・6の意味するもの
7月4日(火)の「キリスト教の時間」は、詩人・上田由美子さんのお話を伺いました。上田さんは、原爆によって一瞬で消された人の無念の想いを慰霊、広島そして世界の追憶として伝えつつ反核・反戦の思いを訴えてこられました。また、詩の朗読を通して出血や高熱で亡くなる被爆者の有様、原爆特養ホームの方々、詩で癒され70余年を経てやっと自ら遺体を葬った平和公園に立てた男性の話等語ってくださいました。上田さんは詩壇の芥川賞である日氏賞の受賞者でもあります。
7月11日(火)は、韓国の原爆被害者を救援する市民の会前

支部長・豊永恵三郎さんにご講演いただきました。爆心近くで母と弟が被爆、ご自身も入市被爆者です。アジア侵略を行った当時、日本の軍都であった広島で、コリアンの方が多数肉体労働に従事、原爆投下で多くが犠牲となり、さらには差別で日本人以上に被爆したこと、帰国後も日韓両国政府からの支援がなく、平岡元広島市長・河村内科院長らと救援活動を開始、42回に及ぶ裁判を通じ被爆手帳取得を含め支援した経験を語られました。
いずれも、学生教職員一同平和への想いを新たにす貴重な時間となりました。
(宗教センター事務課長 坂野康文)



2017年度 ゲインズ学術奨励賞 受賞者
●国際教養学部 井口優香(いぐち ゆか)
●人間生活学部 生活デザイン・建築学科 新田さつき(にた さつき)
●管理栄養学科 中丸仁美(なかもる ひとみ)
●幼児教育心理学科 山田絵美佳(やまだ えみか)

2017年度(第35回) 広島女学院大学 公開セミナー
総合テーマ 「日本文学を通して考える平和」
第1回 10月7日(土)14時〜16時 井上ひさしが残したものの「父と暮らせば」に託された平和への希求
国際教養学科教授 金田文雄
第2回 10月14日(土)14時〜16時 栗原貞子の作品と平和
戦争前後の作品を比較して
国際教養学科教授 楠木靖史
第3回 10月21日(土)14時〜16時 平和をひらく
戦争と平和をみつめるブックガイド
「子と父」をよめる
絵本からYA図書まで
国際教養学科特任准教授 西河内靖泰
第4回 10月28日(土)14時〜16時 松谷みよ子の平和への折り紙
「直樹とゆう子の物語シリーズ」をよめる
国際教養学科准教授 足立直子

中学・高校

平和を祈る週(6/12~6/17)

平和を祈る週特別礼拝講師として、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんをお迎えしました。安田さんは、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けています。

安田さんの原稿は、高1の担任の先生が紹介した「国境なき子どもたち」の「友情レポーター」としてカンボジアを訪問したことでした。ポランテアとかに興味があったわけではなく、家族と暮らせない子や、路上で寝ている子もいると

聞いて、中学時代、家族を相次いで亡くし、「家族って何なのか」と悩んできた自分に通じるものを感じて応募。貧困のどん底にありながら家族を思いやる子どもたちの姿に衝撃を受けたそうです。

礼拝の中では、現地の写真を見せながら、カンボジア、シリア、陸前高田など、紛争や災害の中で生きる人々の痛みと、その中でなお輝く人間の尊厳と希望を伝えて下さいました。生徒たちは食い入るようにお話を聞き、高校礼拝後の講師を囲む会には、会場いっぱい



いに集まった生徒から途切れることなく質問が続きました。

週中、中学では8・6平和祈念式で広島女学院原爆慰霊碑に捧げる千羽鶴を作成、昼の集いは被爆アオギリに生きる勇気を与えられ、被爆アオギリ2世の植樹運動をされた故沼田鈴子さんをモデルにした映画「アオギリにたくして」を上映しました。



平和を祈る週に中学生が折った千羽鶴は、8・6平和祈念式で慰霊碑に捧げました。

高校では昼の集いで、生徒によるミャンマー研修報告、韓国研修報告、NPT再検討会議準備委員会報告などが行われました。また東日本大震災広域避難者支援の募金活動に取り組みました。

(宗教教育委員会 刀祿館美也子)

8・6記念礼拝



8月6日(日)午後1時30分から、ゲインズホールで、中1、中3、高2の生徒が出席し、多くの来訪者の方々と共に、栗原明子さん(卒業生)をお迎えして平和記念礼拝をまもりました。

栗原さんは、1944年に広島女学院高等学校(現中高)を卒業し、広島女学院専門学校(現大学)に入学、向洋にある東洋工業に学務員中に被爆。翌日、帰宅途中にすさまじい情景を目にしました。大手町にあった自宅は焼失しており、家族と会えないまま、広島文理科大(現広島大)近くで知人に声をかけられ、そこで「南方特別留学生」と出会いました。

太平洋戦争中、日本は「大東亜共栄圏」を担うリーダー育成のため東南アジア諸国から優秀な人材を日本に留

学させていました。広島で被爆した留学生たちと、栗原さんは1週間、助け合って過ごしました。自らも負傷しながら、日本を恨むでもなく、被爆者たちを助け、行方不明の父を捜す自分を励ましてくれた、極限の中での彼らの思いやりと笑顔に救われたと言います。

マレーシア王室出身のサイド・オマールさんは、整った目鼻立ちの優しい青年でしたが、ようやく帰国できると東京に向かう途中、原爆症のため亡くなられたと後で知りました。帰国したベンギラン・ユソフさんは、後にブルネイ初代首相になりました。

栗原さんは、家の焼け跡で疎開していた母と再会、かわいがってくれた父は県病院で梁の下に挟まれたまま焼け死んだと人から伝え聞きました。原爆直後、市内で過ごした自分も原爆症の症状が現れましたが、何とか回復。被爆体験を人前で話すことは長くありませんでしたが、福島原発事故を機に「語らねば」と思うようになりました。

また、異国の地で被爆した留学生の方々のことを多くの人に知ってもらいたい、その強い思いを語って下さいました。

(宗教教育委員会 刀祿館美也子)



夏期海外生活体験学習

7月26日から8月11日まで、中3生徒18名は、オーストラリア・メルボルン郊外に位置するキルピントングラマースクールでのホームステイ研修に参加しました。



到着した当初は英語しか通じない環境や生活習慣の違いに戸惑っていましたが、徐々に発言や質問をすすんでできるようになりました。また、日本語や体育、芸術など様々な授業に参加させていただき、グループやペアでの活動をしながら現地の生徒達と交流しました。8月4日には「Peace Day」として、広島や平和に関するプレゼンター



シオンを行いました。生徒達は準備してきたパワーポイントをみせながら、原爆や広島復興、女学院での平和活動、語り部さんについて英語で説明をしました。キルピントン生徒はとも真剣に聞いてくださいました。その後、ともに輪になって折りを捧げ、折鶴を折りました。

2週間というわずかな時間でしたが、生徒達は英語力の向上もさることながら、自らすすんで行動することの大切さ、異文化におけるコミュニケーションの取り方など、研修を通してたくさん学ぶことができました。

(グローバル教育推進部)

和田知亜紀

Peace Forum

8月6日午後、台風の影響を考慮し予定を前倒ししてPeace Forumを開催しました。このフォーラムは9年前、ハワイのプナホウ高校(オバマ前アメリカ大統領の出身校)と本校との小さな交流会としてスタートし、今年は過去最高の規模となり150余名もの参加者をお迎えしました。プナホウ高校はもちろんのこと、遠方から沖縄尚学、玉川聖学院、関西創価、長崎東、県内からも盈進、武田高校の生徒・先生方にご参加いただきました。

具体的はどういった行動を起こすよう提言できるか、高校生らしい視点で議論を行っていました。またまとめた行動計画は今後実行に移され、また来年のフォーラムで経過報告がなされる予定です。その日限りではなく、実際に思いが紡がれ、世界平和実現のため少しでも良い影響をもたらすことができればと願うばかりです。

各校の取り組みを紹介し合うだけでなく、例年核軍縮に関わるトピックを選び、事前学習を行った上で、当日ディスカッションを通して考えを深められるようなプログラムを実施しています。今回は「Power to the People」と題し、市民社会とNGOをテーマとして、われわれ市民に何ができるかを順序立てて考えました。

プナホウ高校の素晴らしいプレゼンテーションで幕を開けた今回のフォーラムには、急遽、CTBT(包括的核実験禁止条約)に基づき核実験の監視を行う国際機関CTBT Oの準備委員会からゼルボ事務局長がお越しくださり、メッセージをいただきました。

各校が事前に調査するNGOを選定し、ポスターにまとめ、当日の発表に臨みました。参加者は自由に各校の発表を見て回り、投票により全26のうち5つのNGOを選び、それらに

以下メッセージより抜粋。「エスカレートする軍事競争により緊迫する世界情勢を憂えています。この状況を打破するには被爆の事実を真に知る日本の力が肝要であり、ヒロシマ・ナガサキを知る若者に、自分を、そして自分の若さを信じ、行動を起こしてほしい。」

(グローバル教育推進部)

常本 奨悟

中2チャレンジキャンプ



ターがさりげなくアドバイスするなど、リーダーとして頼もしさを見せてくれました。また恐羅漢登山においては、高校生リーダーの励ましの声に支えられながら、全グループ登頂を果たしました。

途中、土砂降りや激しい雷が鳴るなど、自然の驚異を感じることもありましたが、そういう体験の中で生徒は一回り力強くなったと思います。

解散式ではお世話になった高校生リーダーとの名残を惜しむ中2の姿が印象的でした。

(チャレンジキャンプ委員 伊藤望)

8年目を迎える中2チャレンジキャンプ。今年も芸北の自然豊かな地で行われました。この活動の目標は①「自分たちでやるべきことを見つけ、こなす」、②「誰かのために自分が動く」、③「力を合わせて、広島で一番高いところへ(恐羅漢山登頂)の3つです。」

中2生徒4〜5名に、高校生リーダーが一人付き、一つのグループを作りまします。高校生リーダーはあくまで中2生徒のサポート役であり、基本的には中学生が自ら考え、行動していきます。中学生だけで難しいテント設営や飯盒炊さんの火起こしなどについては高校生リー



高一進路合宿

4月26日(水)から27日(木)にかけて、グリーンピアせとうちで進路合宿を行いました。合宿の目的は「自分について考え見つけ、将来について考える」です。高校生活のスタートにあたり、進路実現のために、自分はどういう学校生活を送るのかについてHR活動を通して考えました。今年度は学習アンケータ、進路適性診断を行いました。山登り(ハイキング)を企画しましたが、雨のため実施できませんでした。

開会礼拝の後、進路指導部長の中村紀子先生の講演で、高校生活や授業、日々の学習

に必要な心構えについての話を聞きました。昼食後、各クラスに分かれ、春休みに書いた自分史や保護者の方からの手紙を読んで、自分自身を見つめることをテーマにHR活動を行いました。夕食後は、翌日にクラスで発表する「自分を語る」の原稿作りをして1日目を終えました。2日目は、一人ひとりが自身を語り、友人の語りに真剣に耳を傾けることで、自分の将来をどのように築いていくか、高校生としてどう日々を過ごすかなど、じっくりと考えることができました。これらを糧に充実した高校生活を送ってけると信じています。

保護者の皆様にはお忙しい中、思いの込められた手紙を書いていただき、この合宿を内容の濃いものにしていただきました。重ねて感謝申し上げます。

(高一 久保光章)



中1学年合宿

中1は4月27日(木)、28日(金)の2日間、グリーンピアせとうちへ合宿に行きました。今年は天気にも恵まれ、両日とも充実した時間を過ごせました。1日目は、「同級生インタビュー」があり、友達との意外な共通点や今まで知らなかった自分の一面を知る良い機会となりました。これまでもあまり話せなかった友達ともゆとり話することができた人も多かったようです。2日目は、校歌・讚美歌コンクールとドッジボール大会がありました。各クラス、校歌と担任の選んだ讚美歌を合宿に向けて練習してきました。どのクラス

もレベルが高く、賞を選ぶ校長先生たちは大変だったようです。今年は指揮をする先生たちもハイレベルでした。ドッジボール大会では、久々に運動したという人も多かったようですが、しっかりと体を動かしたり、友達を応援したりすることで、クラスで団結



もレベルが高く、賞を選ぶ校長先生たちは大変だったようです。今年は指揮をする先生たちもハイレベルでした。ドッジボール大会では、久々に運動したという人も多かったようですが、しっかりと体を動かしたり、友達を応援したりすることで、クラスで団結



することができました。帰りのバスの中でも疲れた様子はなく、隣の友達と楽しそうにしゃべっている人が多くいました。楽しく有意義な思い出に残る2日間になったことと思います。

(中1 竹林拓也)

中高文化祭のご案内

《一般公開》

11月3日(金・祝) 9時15分～15時30分

文化祭では、日ごろのクラブ活動の成果や学校生活の様子を多くの方々に、楽しんでいただきたいと思っております。今年度は中学生と中学生徒会合同制作として「ペットボトルキャップアート」に新しく挑戦いたします。ぜひご来場ください。お待ちしております。

(高校生徒会顧問 山崎 綾子)



パンフレット 佐藤 夢香



ポスター 伊藤 桃子

女学院 クリスマスのご案内

日時 12月20日(水) 午後6時～7時30分 (5時30分開場)

場所 中高ゲインズホール

内容 クリスマス礼拝 (一般公開)

在校生・保護者・卒業生・本校志望者とその保護者の方・一般市民の方々などでもご参加いただける公開クリスマス礼拝です。牧師先生のメッセージ、音楽科教師によるパイプオルガン、生徒によるハンドベル演奏など。共に聖書を読み、讚美歌を歌い、クリスマスをお祝いいたしましょう。

入場は無料ですが、席上で献金への協力をお願いします。(国内外の施設やNGOなどに寄付、強制ではなく、額もご自由にお捧げ下さい)

(宗教育委員会)

生徒の活躍

マンドリン部

平成29年度 全国高等学校ギター！マンドリンコンクール 優秀賞 ◆朝日新聞社賞 (第2位)



幼稚園

わたしはぶどうの木

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」ヨハネ福音書15:5

園庭には5本のテラウエアのつるが砂場に影を落とすとしてくれる「ぶどう棚」があります。一年おきのリズムで9月上旬にたくさんの実がなるのですが、今年はその年の年で、しかも半月ほど早く旬がやってきました。夏休み中の預かり保育を利用して子どもたちと8月中旬にたっぷりとその恵みにあずかせていただきましたが、それでも9月の新学期にたくさん残っていて、みんなであいだくことができました。

薬品処理をしない自然農法です。当然種ありです。子どもたちがあちこちに種を飛ばしているの、砂場の周辺は二世がたくさん生えています。が、挿し木でなく種から芽を出したつるには、園芸品種のぶどうが実らず、野葡萄が実ります。改良され、挿し木で増やされた品種は確かに美味しいのですが、「本当のぶどうの姿はこっちなんだよな」と、黒い小さな粒のワイルドな味わいも楽しんでいます。

イエス様という木につながる子ども、一粒一粒大切なぶどうの実です。処理や改良なんて必要のない、ありのままに豊かな子どもたちと、実りの秋を、一日一日大切に過ごしていきたいと願っています。

(園長 高田憲治)



たくさんのお花、きれいだね

花の日礼拝

6月中旬、各家庭から花を持ち寄り、花の日礼拝の時をそれぞれのクラスで持ちました。子どもたちが持ち寄った花を囲んで、神さまが与えてくださった美しい自然に感謝しました。

礼拝後、子どもたちは常日頃からお世話になっている方々にありがたの気持ちを含めて、花とカードを贈り、神さまの恵みを分かち合いました。子どもたちは礼拝のお話を聴き、花や虫をも大切にされるイエス様の姿に感じ、それぞれの思いで受け止めていました。イエス様のような優しい心が、子どもたち一人ひとりに育つことを願っています。

(幼稚園 横沢政人)

平和の祈り

年長児は、佐々木禎子さんと出会い、7月のおとまり会では「原爆の子の像」に折鶴を捧げました。2学期以降も、被爆体験の語りやアオギリに会いに行く計画もあります。こうして、様々な平和の取り組みを重ねてはいますが、「どうしても平和をつくれるのだろうか」と、答えの見つからない思いをみんなで巡らせています。

折りを込めて鶴を折るという活動は、おとまり会が終わった今でも続いています。園生活の中では、友だちと衝突することもしばしば。その都度、自分と同じで友だちも大切であることを確かめながら心をつないでいます。お互いを認め許し合うことは簡単ではないけれど、心に蒔かれている平和の種が、いつの日か芽吹き、花を咲かせることを信じています。

(幼稚園 平野ユミ)



いつもバスを運転してくれて、ありがとう



原爆の子の像の下で



私たちの折りがとどきますように

園庭開放

月に二度開催している園庭開放には、未就園児親子の参加が多くあります。七月には特別に、未就園児さんだけを対象とした園庭開放も行いました。厳しい暑さでしたが、涼しいホールでは様々な遊具で思う存分遊び、ゆたらかな親子の時間が流れていました。また、幼稚園設営の大きなプールも開放しました。子どもたちは水に入ったとたん、今までとは違う感覚に戸惑い、緊張した面持ちで身動きできない様子でした。しかし、時間と共に大好きな水に親しみたわむれ、歓喜の音が空高く響いていました。

この日、43家族をお迎えして、豊かな時を共にできましたことと感謝でした。

(幼稚園 木村和美)



校勢概要 (2017.5.1現在)

◇専任教職員数

(単位 人)

種別	性別	大学			中高			幼稚園	法人	計
		国際	人間	計	中学	高校	計			
教員計	男	18	13	31	13	16	29	2	0	62
	女	11	18	29	19	17	36	10	0	75
	計	29	31	60	32	33	65	12	0	137
職員計	男		14	14	1	1	2	0	3	19
	女		46	46	2	2	4	0	3	53
	計		60	60	3	3	6	0	6	72

◇2017年度 学生・生徒・園児在籍数

(単位 人)

校部科	学年	学年				小計	計
		1	2	3	4		
言語文化研究科 博士後期課程	日本語文化 専攻	0	1	0	-	1	1
言語文化研究科 博士前期課程	日本語文化 専攻	1	4	-	-	5	5
人間生活学研究科 修士課程	生活文化 専攻	0	1	-	-	1	2
	生活科学 専攻	0	1	-	-	1	
大学国際 教養学部	国際教養学科 (GSE)	108	111	120	164	503	503
大学人間 生活学部	生活デザイン・ 建築学科	54	56	51	43	204	817
	管理栄養 学科	65	80	77	64	286	
	幼児教育 心理学科	77	81	80	89	327	
大学文学部	日本語 日本文学科	-	-	-	3	3	3
高等学校		192	219	223	-	-	634
中学校		205	205	247	-	-	657
幼稚園	3年保育 63 2年保育 74 1年保育 81						218
計		765	833	879	363	-	2,840

◇財産目録

一、基本財産	9,023,436,270円	中学校建物	7,895.59㎡ 625,565,137円
1. 土地	230,871.85㎡ 1,138,197,688円	幼稚園建物	1,560.66㎡ 170,471,745円
大学校地	202,404.33㎡ 581,008,581円	法人建物	808.72㎡ 47,483,370円
高等学校校地	10,716.12㎡ 336,684,120円	3. 構築物	228点 181,180,065円
中学校校地	13,002.00㎡ 195,030,000円	4. 教具・校具・備品	24,094点 391,972,247円
中高寄宿舎跡地	852.89㎡ 8,528,900円	5. 図書	195,816冊 1,301,664,675円
幼稚園校地	3,328.25㎡ 3,507,070円	6. 車両	7台 2,921,839円
校外土地	568.26㎡ 13,439,017円	二、運用財産	2,225,474,560円
2. 建物	60,850.00㎡ 6,007,499,756円	三、負債	3,314,443,173円
大学建物	39,491.48㎡ 3,665,295,839円	四、正味財産	7,934,467,657円
高等学校建物	11,093.55㎡ 1,498,683,665円		

2016年度財務三表

◇資金収支計算書

(単位 円)

科目	金額
収入の部	
学手寄補付受雑借前そ資前	2,356,601,745
生徒等納付金収入	43,735,030
手数料補助金収入	69,923,139
随事業・取利益事業取	586,591,904
受取利息・配当金収入	37,446,400
雑借入金受金の収入	2,064,149
前年度の繰越収入	88,668,607
その他の収入	957,010,000
の収入の調整	320,271,000
前年度の繰越収入	162,664,178
の繰越収入	△ 375,094,276
前年度の繰越収入	1,006,916,050
収入の部合計	5,256,797,926
支出の部	
人教管借備施設資そ資翌	2,096,241,638
件育理入人設備産の金翌	469,309,268
研究経費等返関係運他の支出	235,736,987
研究経費等返関係運他の支出	126,689,121
研究経費等返関係運他の支出	1,057,390,000
研究経費等返関係運他の支出	1,944,000
研究経費等返関係運他の支出	80,796,693
研究経費等返関係運他の支出	1,363,100
研究経費等返関係運他の支出	156,569,252
研究経費等返関係運他の支出	△ 110,609,257
研究経費等返関係運他の支出	1,141,367,124
支出の部合計	5,256,797,926
支払資金の増減額	134,451,074

◇事業活動収支計算書

(単位 円)

科目	金額
収入の部	
学手寄経付雑教特	2,356,601,745
生徒等納付金収入	43,735,030
手数料補助金収入	70,188,506
随事業・取利益事業取	572,735,904
受取利息・配当金収入	37,446,400
雑借入金受金の収入	91,435,625
その他の収入	3,172,143,210
の収入の調整	2,064,149
前年度の繰越収入	15,602,899
前年度の繰越収入	3,189,810,258
収入の部合計	3,189,810,258
支出の部	
人教管教教特	2,127,011,667
件育理教教特	908,215,643
研究経費等返関係運他の支出	241,155,691
研究経費等返関係運他の支出	3,276,383,001
研究経費等返関係運他の支出	126,689,121
研究経費等返関係運他の支出	6,160,132
研究経費等返関係運他の支出	3,409,232,254
支出の部合計	3,409,232,254
基本金繰入前当年度取支差額	△ 219,421,996
基本金繰入額合計	△ 264,381,102
当年度取支差額	△ 483,803,098
前年度繰越取支差額	△ 9,253,666,580
基本金繰取支差額	24,000,000
翌年度繰越取支差額	△ 9,713,469,678

◇貸借対照表

(単位 円)

科目	金額
資産の部	
固定資産	10,033,994,152
有形固定資産	9,023,436,270
その他の固定資産	1,010,557,882
流動資産	1,214,916,678
資産の部合計	11,248,910,830
負債の部	
固定負債	2,631,035,105
流動負債	683,408,068
負債の部合計	3,314,443,173
純資産の部	
基本金	17,647,937,335
翌年度繰越取支差額	△ 9,713,469,678
純資産の部合計	7,934,467,657
負債及び純資産の部合計	11,248,910,830

事務局

次期学長選任

理事会は、改組元年である2018年度からの学長として、湊晶子現学長を再任いたしました。湊学長のもと、教職員一同、生まれ変わる大学の運営に全力をつくしてまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

理事長 中川日出男

会議報告

第152回理事会

2017年4月11日14時から開催。

【審議事項】本廣法人事務局長の財務理事選任を決定。また、2017年3月末退職の契約教職員5名に対する慰労金の支出を決定。

【報告事項】学事報告、及び次期学長・校長の選考手続きを進めること等。

5月定期評議員会

2017年5月23日10時から開催。

【選任事項】任期満了及び子女卒業等により欠員となつている在学学生父母からの評議員4名を選任。任期は、本日から3年間。

次に、本年5月22日に任期満了を迎えた評議員の後任24

名を選任。任期は、本年6月1日から3年間。

次に、本年5月22日に任期満了を迎えた評議員会推薦理事の後任として、引き続き、現在の3名の理事を推薦することを決定。

【審議事項】2016年度事業報告案について、改組に向け大学として十分な準備をし、法人全体としても攻めの展開ができるような努力が必要等の意見の後、承認。

次に、2018年度決算案について、大学の収支改善や持続可能な財務体質にするための努力を促す発言の後、承認。

【報告事項】学事報告、及び2016年度監事監査・監査状況報告。

第153回理事会

2017年5月23日14時から開催。

【選任事項】本年5月22日に任期満了を迎えた評議員会推薦理事の後任として、引き続き、現在の3名の理事の再任を決定。任期は、本年6月1日から3年間。

次に、理事任期が本年6月9日までとなっている中川理事長の理事再任を決定。任期は、本年6月10日から3年間。

次に、理事の互選により、本年6月10日以降も中川理事長とすることを決定。

【審議事項】2016年度事業報告案及び決算案について、質疑応答の後、承認。

次に、各種基金の2016年

度決算案及び2017年度予算案、2017年度内部監査計画について、承認。

【報告事項】学事報告、次期学長候補選考委員の選出、2016年度内部監査実施状況報告、及び2017年6月1日付け事務職員人事等。

第154回理事会

2017年6月13日14時から開催。

【審議事項】維持会問題への対応について協議。

次に、大学入試センター試験利用入試成績優秀者優遇制度規程及び内規を改正。

【報告事項】学事報告、次期校長候補選考委員会の設置、及び大学改組の状況。

第155回理事会

2017年7月11日14時から開催。

【選任事項】次期学長候補選考委員会からの答申を受け、湊学長を次期学長とすることに決定。任期は、2018年4月1日から2年間。

【報告事項】学事報告、大学編入・転入学に関する規程の改正、次期校長候補選考委員の選出、及び財務の状況。

第156回理事会

2017年9月19日14時から開催。

【審議事項】大学院学期の変更、及び日本私立学校振興・共済事業団の経営相談を受けることを決定。

【報告事項】学事報告、及び経営判断指標に基づく経営状態の区分等。

編集後記

今年には季節の移りがわかりやすい。季節が変わるから、一年が滞りなく進んでいく。変わりなく見えるものほど、激しい変化を内に秘めている。私たちの日常の内なる変化を、お伝えできたのだろうか。

(中高 綿田勝)

今年度も広島女学院クリスマスコンサート「メサイア」を開催いたします。ご家族お誘い合わせでご来場ください。

日時 2017年12月23日(土・祝) 開場 17:00/開演 17:30
会場 中学・高等学校ゲーンズホール
出演 《独唱》羽山弘子(卒)、佐々木有紀(卒)、頓安利秀、折河宏治
広島女学院メサイア合唱団・オーケストラ 《指揮》星野晴夫

お問い合わせ / 法人事務局 総務課 TEL 082-228-0380

The 33rd MESSIAH ~2017.12.23~

同窓会からのお知らせ

同窓会バザー

日時・2017年11月3日(祝・金) 10:00~13:00
場所・ゲーンズホール前テント(バザー) 同窓会館(Caféアイリス)

◎バザーのための献品を常時受け付けております。

クワイアアイリス 20周年記念コンサート

日時・2017年11月5日(日)14:00開演(13:30開場)
場所・広島県民文化センターホール
料金・900円(全席自由)

《広島女学院大学エンパワメントセンター・同窓会 共催》

聖書研究会

講師・湊晶子 院長・学長

◎聖書は「生きる希望」についてなんと語っているでしょう ~創世記から黙示録まで~

日時・第4回 11月25日(土)13:30~15:00
第5回 2018年2月24日(土)13:30~15:00
場所・広島女学院大学 人文館303号室

お問い合わせ

同窓会事務局 TEL・FAX 082-221-1059

日野原重明先生 ご召天

日野原重明先生は、お父様である日野原善輔先生が本学院校長、院長、理事長を務めておられたこともあり、2008年4月から2013年3月まで大学客員教授を、その後2013年5月からは学院の最高顧問をお引き受けくださり、私たちをいつも温かく見守り続けてくださいました。



ここに謹んで哀悼の意を表しますとともに、安らかにご永眠されますよう、心からお祈り申し上げます。

広瀬ハマコ記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・B・ゲーンズ先生から直接薫陶を受けられました。その期待に応えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院発展のために尽力されました。1988年に「ご召天」。その後、私財は全額先生ご遺言により本学院に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。

◎応募条件・本学(高校、大学)卒業生で国内外の大学院在学者
◎選考・本人申請により3月・9月に行います。
◎詳細お問い合わせは、法人事務局総務課へ
☎082122810380(院長 湊晶子)

昇任・昇格

2017.6.1付

Table with 3 columns: 氏名, (新), (旧). Entry: 藤本 真由美, 大学図書館図書課課長代理, 大学図書館図書課主任

配置転換

2017.6.1付(順不同)

Table with 3 columns: 氏名, (新), (旧). Entries: 森脇 正樹, 法人事務局総務課主任, 中高事務部主任; 下高呂 千春, 中高事務部主任, 大学事務局庶務課主任兼 大学総合研究所事務課主任; 藤原 雅也, 大学事務局庶務課職員兼 大学総合研究所事務課職員, 法人事務局総務課職員

兼務発令

2017.6.1付(順不同)

Table with 3 columns: 氏名, (新), (旧). Entries: 松田 俊治, 大学事務局情報管理課情報管理主管兼 大学事務局庶務課施設担当主管, 大学事務局情報管理課情報管理主管; 坂野 康文, 大学宗教センター事務課課長兼 大学総合学生支援センター学生課ボランティア担当主管, 大学宗教センター事務課課長

兼務解除

2017.4.1付(順不同)

Table with 3 columns: 氏名, (新), (旧). Entries: 宇根 治, 大学総合学生支援センター学生課課長, 大学総合学生支援センター学生課課長兼 大学ボランティアセンター事務課課長; 今井 紗, 大学総合学生支援センター学生課課長代理, 大学総合学生支援センター学生課課長代理兼 大学ボランティアセンター事務課課長代理; 馬嶋 彩子, 大学総合学生支援センター学生課職員, 大学総合学生支援センター学生課職員兼 大学ボランティアセンター事務課職員; 宮田 祐子, 大学総合学生支援センター学生課職員, 大学総合学生支援センター学生課職員兼 大学ボランティアセンター事務課職員; 藤本 一葉, 大学総合学生支援センター学生課職員, 大学総合学生支援センター学生課職員兼 大学ボランティアセンター事務課職員

2017年度 保護者会 役員 (敬称略・順不同)
大学協力会 会長 中川 貴, 副会長 中島 久美, 理事 長田 ひかり, 折本 美貴, 中倉 恵子, 明珍由美子, 小西 美香, 吉本 美紀, 榎本 建始, 波多野 五三, 村上 和保, 山下 京子, 澤井 貴介, 島田 青叶, 櫻井 克政, 深田 洋介, 近久 和彦, 安保 あい, 小田 有里, 大川 公治, 武田 真吾, 福戸山 正明, 片岡夕美子, 宇原 友美, 羽賀 友美, 森藤 百合

人事
結核 橋崎 久美子 (大学人間生活学部准教授) 卸・2・15
誕生 音愛(のえる)君 (Paul Sabatier 大学国際教養学部助教(子息)) 卸・8・10, 勇仁(ゆうじん)君 (Jamie Szabha 大学国際教養学部助教(子息)) 卸・8・11, 三村 勝彦 (三村順子 大学総合学生支援センター学生課事務職員(専父)) 卸・5・3, 市川 昭輝(田 大学教授) 卸・6・8, 日野原 重明様(最高顧問) 卸・7・18, 眞名志 輝雄様(名誉理事評議員) 卸・9・2

日誌抄
4・1(土) 新任式・礼拝, オリエンテーション, 4・4(火) 大学院・大学入学式, 4・7(金) 中学校入学礼拝, 4・8(土) 高等学校入学礼拝, 4・11(火) 幼稚園入園礼拝, 4・13(木) 中高体育大会, 5・13(土) 幼稚園同窓会, 5・17(水) 監事監査, 5・18(木) 学院運営協議会, 5・20(土) 中高PTA総会, 5・20(土) 大学協力会総会, 5・23(火) 評議員会, 5・23(火) 理事会, 5・27(土) 大学卒業生の集い, 6・15(木) 学院運営協議会, 7・11(火) 理事会, 8・6(日) 被爆72年平和祈念式, 9・11(月) 9・13(水) 9・26(火) 財務状況説明会, 9・15(金) 9・19(火) 9・21(木) 入園説明会, 9・19(火) 理事会, 9・28(水) 学院運営協議会, 9・30(土) 大学教職員研修会, 9・30(土) 中学生説明会, 10・1(日) 創立記念日

奇附
8月30日受付分まで(順不同敬称略)
大学教育充実のため 森水裕子 12,000円, 角谷安枝 10,000円, 卒業感謝 国際教養学部第二期謝恩会 30,000円, オリキャン貸切バス利用料として 広島女学院大学協力会 1,000,000円, ガウン・椅子・フード・保管料として 広島女学院大学協力会 280,422円, ゲインズ奨学金として 広島女学院同窓会 8,000,000円, アイリスセンター維持費 広島女学院同窓会 600,000円, 中高教育充実のため 石田直子 寺脇幹雄 各200,000円, 森水裕子 18,000円, 栗原明子 各10,000円, 重松深雪 多田節子 各10,000円

Paul Spicer ノートPC 創立130周年記念募金として 10,000,000円, 広島女学院同窓会 500,000円, 星野晴夫 300,000円, (匿名1名) 297,757円, 広島女学院同窓会 2017年ホームカミングデー 2,000,000円, 広島管財株式会社 (匿名1名) 150,000円, 藤部 裕文 100,000円, 入江直子 木村和美 70,000円, 藤元貴美子 前田瑞枝 60,121円, 高校17期同窓会 50,000円, 阿部 秀子 今田 寛 48,269円, 広島女学院同窓会兵庫支部 30,000円, 池崎 利正 河瀬 成徳 佐藤 美穂子 中司 京子 西嶋 佳弘 福田 浩 松岡 朋子 行廣 ゆり (匿名2名) 20,000円, 徳田 昭子 濱野 仁之 播磨 直恵 (匿名3名) 15,000円, 窪田 体操部会 一同 正木 由紀子 住田 靖子 11,000円

10,000円 有田 道典 上田 知子, 増原 宗司 5,000円 大津 サナエ 大塚 勇久子, VISHバスキャッチシステム年間利用料として 尾崎 龍浩 門井 瑞枝 川口 美子, 広島女学院ゲインズ幼稚園みぎわ会 103,680円 久保田喜代子 桑原 明 功野 博子 河野 泰子 小林 早苗 阪本 洋子 三文字 正成 高橋 勇 高橋 知子 田中 恭子, ゲインズホール音響反射板9枚 田中 妙子 田中 千カ子, Paul Spicer ノートPC 田中 中枝 田中 順子, 創立130周年記念募金として 10,000,000円 田村 三記子, 広島女学院同窓会 500,000円 塚藤 寿美子, 星野 晴夫 300,000円 中村 チズ, (匿名1名) 297,757円 野村 久子 野村 博子, 広島女学院同窓会 2017年ホームカミングデー 2,000,000円 西村 陽子, 広島管財株式会社 (匿名1名) 150,000円 水野 暁と 舟川 仁美, 藤部 裕文 100,000円 宗友 知里 盛生 和子, 入江直子 木村和美 70,000円 山口 潤司 山口 涼子, 藤元貴美子 前田瑞枝 60,121円 山本 映美 山本 恭子, 高校17期同窓会 50,000円 渡邊 由紀恵 (匿名9名) 48,269円 小野 紀美子 垣井 比呂美, 広島女学院同窓会兵庫支部 30,000円 大迫 フジコ 杉野 修子, 池崎 利正 河瀬 成徳 10,000円 (匿名1名), 佐藤 美穂子 中司 京子 10,000円, 西嶋 佳弘 福田 浩 5,000円, 松岡 朋子 行廣 ゆり (匿名2名), 徳田 昭子 濱野 仁之 20,000円, 播磨 直恵 (匿名3名) 15,000円, 窪田 体操部会 一同 正木 由紀子 11,000円, 住田 靖子 11,000円, 栄基金事業 A 奨学金制度の充実, B 教育研究施設・設備の充実, C エンパワメント・センターの充実

2018年度 学生・生徒 園児 募集要項



大学 〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話 082-228-0386(代) FAX 082-228-7815

中学校 〒730-0014 広島市中区上鞆町11-32
電話 082-228-4131 FAX 082-227-5376



2018年4月、新学部・学科開設

「ライフキャリア教育」を土台にした新学部・学科編成で、女性の生涯を豊かにする学びを実践

- 募集人員**
- 人文学部
 - 国際英語学科(GSEコース・英語文化コース) 65名
 - 日本文化学科 40名
 - 人間生活学部
 - 生活デザイン学科 65名
(生活プロデュース、被服・ファッションデザイン、インテリア・住居・建築デザイン、地域デザイン)
 - 管理栄養学科 70名
 - 児童教育学科(幼児教育コース・児童教育コース) 90名

*GSE=Global Studies in English

入試概要 (2017年11月実施以降)

入試区分	対象学科	出願期間		試験日	合格発表日	試験会場		
		インターネット 出願期間	出願者 募集要項					
指定校制 推薦入試	全学部 全学科	2017年10月23日(日) ~11月6日(日)★		2017年 11月11日(土)	2017年 11月17日(金)	本学		
公募制推薦入試 A・B方式(書類) C方式(書類) 特設方式(専攻 児童教育学科のみ)	全学部 全学科 (ただし、 児童教育学科 「特設方式」は 専攻のみ実施)	第1期 2017年10月23日(日) ~11月7日(日)★	ホーム ページ 入 試 ガ イ ド 参 照	第1期 2017年 11月12日(日)	第1期 2017年 11月17日(金)	第1期 本学・福山・尾道・ 松江・松山(ただし、 学科、方式による)		
		第2期 2017年11月22日(水) ~12月5日(水)★		第2期 2017年 12月9日(土)	第2期 2017年 12月15日(金)	第2期 本学		
特招生入試	全学部 全学科	2018年1月5日(金) ~1月22日(日)★		2018年 1月30日(水)	2018年 2月12日(日)	一般前期 A日程と同じ		
一般入試 (前期日程) A日程 B日程 C日程	全学部 全学科	2018年1月5日(金) ~1月22日(日)★	A日程 2018年1月30日(水) B日程 2018年1月31日(木) C日程 2018年2月2日(金)	2018年 3月6日(火)	2018年 2月12日(日)	A日程 本学・福山・尾道・ 岡山・松江・松山・ 雲南・那覇 B日程 本学・福山・尾道 C日程 本学		
						2018年 2月16日(金) ~2月28日(水)★	2018年 2月12日(日)	—
						2018年2月16日(金) ~2月28日(水)★	2018年 1月13日(土)~14日(日)	—
大学入試 センター試験 利用入試(A日程)	全学部 全学科	2018年1月5日(金) ~1月26日(金)★		大学入試 センター試験 2018年 1月13日(土)~14日(日)	2018年 3月10日(土)	—		
大学入試 センター試験 利用入試(B日程)	全学部 全学科	2018年2月16日(金) ~2月28日(水)★		(本学独自の試験は ありません。)	2018年 3月21日(水)	—		
大学入試 センター試験 利用入試(C日程)	全学部 全学科	2018年3月12日(月) ~3月19日(日)★						

★インターネット出願登録は、最終日午前11:00まで。
・全入試インターネット出願となります。(特別入試、編入試験など一部異なります。)
・試験科目など詳細は、入試ガイドまたはホームページにてご確認ください。
・指定校制推薦入試に関しては、在学されている高等学校へお問い合わせください。
・社会人・帰国生徒・外国人留学生特別入試、および転入試、編入試も実施します。
※大学入試センター試験利用入試A日程では、成績優秀者に授業料優遇制度があります。(授業料20%減免)

大学院 言語文化研究科(修士課程)
人間生活学研究科(修士課程)

- 募集人員** (男女共学) (社会人・外国人留学生可、定員は春季・秋季計)
- | | |
|------------------|----------------|
| 言語文化研究科 | 人間生活学研究科 |
| 日本語文化専攻 修士課程 6名 | 生活文化専攻 修士課程 6名 |
| 英米言語文化専攻 修士課程 6名 | 生活科学専攻 修士課程 6名 |

春季入試日程
出願期日 2018年2月16日(金)~2月23日(金) 郵送必着
試験期日 2018年3月2日(金) 合格発表 2018年3月9日(金)

【資料請求】 広島女学院大学 入試課 電話:082-228-8365(直)
URL:https://www.hju.ac.jp/ E-mail:nyushi@gaines.hju.ac.jp



募集人員 200名(5学級)
応募資格 2018年3月小学校卒業見込みの女子。
出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は、他の手続あり。
詳細は「2018年度生徒募集要項」を参照のこと。

出願期間 2017年12月14日(木)より2018年1月5日(金)
出願方法 本校HPより出願の手続きを行い、期日までに必要書類を郵送のこと。

試験期日 2018年1月18日(木)
選考の方法 (1)学科試験
(2)提出書類の審査
(3)面接による審査

合格発表 2018年1月19日(金)
願書請求 本校受付で配布。郵送希望の場合、事務室にご請求ください。

幼稚園 〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話 082-228-6635 FAX 082-224-3141

募集人員 3歳児 65名
4歳児 若干名
願書受付 2017年10月3日(火)
入園面接 2017年10月18日(水)
入園手続 2017年10月23日(月)



キリスト教精神に基づいた教育を目指して